



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 鈴木 義隆

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

平成26年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	74,954	1.8	6,088	△17.9	6,410	△19.6	4,253	△16.8
25年12月期第2四半期	73,643	1.1	7,413	8.0	7,968	13.1	5,115	4.4

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 3,922百万円 (△51.1%) 25年12月期第2四半期 8,016百万円 (60.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	16.14	—
25年12月期第2四半期	19.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年12月期第2四半期	197,492		150,564		74.0	
25年12月期	193,086		148,148		74.4	

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 146,192百万円 25年12月期 143,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	6.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	1.9	14,000	△3.5	14,400	△6.2	9,400	△2.1	35.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	263,992,598 株	25年12月期	263,992,598 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	558,114 株	25年12月期	501,584 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	263,466,111 株	25年12月期2Q	263,601,983 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により期前半の個人消費、住宅投資が増加したものの、その後の反動減による落ち込みや、堅調な設備投資にも減速の兆しが見られるなど、先行き不透明感が高まる中で推移しました。また、外需は、雇用改善が続く米国経済の回復が期待されるものの、中国をはじめとする新興国経済の成長ペースが鈍化するなど、力強いけん引役が不在のままに推移しました。

当社グループを取りまく事業環境につきましては、円安・原油高を受けた原燃料価格の上昇に加え、需給のアンバランスにより全般的に製品価格の是正が遅れ、収益が圧迫される厳しい事業環境のうちに推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は749億5千4百万円（前年同期比1.8%増収）、営業利益は60億8千8百万円（前年同期比17.9%減益）、経常利益は64億1千万円（前年同期比19.6%減益）、四半期純利益は42億5千3百万円（前年同期比16.8%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、製品価格の是正が遅れたとともに、採算性を重視した販売戦略により販売数量が減少し、低調に推移しました。無機高純度品は、主力の半導体向けを中心に販売数量が増加し、堅調に推移しました。硫酸および工業用ガスは、全般的に需要が底堅く、前年同期並みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は222億7千万円（前年同期比1.8%減収）となりました。

営業利益は、電力をはじめとする原燃料価格の上昇に対し、製品価格の是正が遅れ、12億4千9百万円（前年同期比39.0%減益）となりました。

②アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステル、ならびにアクリル系ポリマーは、国内向けを中心に底堅い需要に支えられ、販売数量は堅調に推移しました。高分子凝集剤は、競争の激化により販売数量が減少し、低調に推移しました。光硬化型樹脂は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は299億1千万円（前年同期比5.2%増収）となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇に対応した製品価格の是正が遅れるとともに、設備投資に伴う償却費が増加し、23億5千1百万円（前年同期比26.5%減益）となりました。

③機能製品事業

接着剤は、一般用瞬間接着剤の販売数量が増加したとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした機能性接着剤の需要が底堅く、順調に推移しました。建築・土木製品は、建築補修材の需要が堅調だったものの、地盤改良剤の需要が落ち込み、前年同期並みで推移しました。無機機能材料は、銀系無機抗菌剤の販売数量が減少し、低調に推移しました。エレクトロニクス材料は、全般的に販売数量が低迷し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は82億2百万円（前年同期比1.2%増収）となりました。

営業利益は、一般用瞬間接着剤および機能性接着剤の販売数量が増加したとともに、機能性接着剤の製造拠点を高岡工場に統合したことによる合理化効果もあり、18億2百万円（前年同期比16.4%増益）となりました。

④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、消費増税前の駆け込み需要等により前半に販売数量が増加し、堅調に推移しました。ライフサポート製品は、日用品分野の不採算品見直しにより販売数量が減少し、低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、需要が減少し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は129億5千6百万円（前年同期比1.6%増収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の販売数量が好調に推移したことにより、6億6千5百万円（前年同期比29.8%増益）となりました。

⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は16億1千5百万円（前年同期比3.1%減収）、営業損失は1千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、設備投資により有形固定資産などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ44億6百万円、2.3%増加し、1,974億9千2百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ19億9千万円、4.4%増加し、469億2千8百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ24億1千5百万円、1.6%増加し、1,505億6千4百万円となり、自己資本比率は74.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が減少しましたものの、税金等調整前四半期純利益が減少しましたため、前年同期に比べ収入が8千8百万円減小し、104億4千8百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産および長期前払費用の取得による支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が61億6千3百万円増加し、96億7千5百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借換えを実施しなかったことにより収入が減少しましたため、前年同期に比べ支出が9億7千4百万円増加し、15億7千6百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は387億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千2百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月6日に発表しました連結業績予想につきましては、平成26年7月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。

電力、ナフサをはじめとする原燃料価格の上昇に対し、製品価格の是正が遅れ、基礎化学品事業、アクリル製品事業において第2四半期累計期間の収益が圧迫されました。このような状況を踏まえ、平成26年12月期通期の連結業績は前回発表（平成26年2月6日）を下回ると予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,029	12,935
受取手形及び売掛金	43,028	42,098
有価証券	23,000	26,500
たな卸資産	15,795	17,161
繰延税金資産	1,411	1,452
未収還付法人税等	194	180
その他	1,385	1,550
貸倒引当金	△70	△48
流動資産合計	101,774	101,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,982	20,140
機械装置及び運搬具（純額）	18,091	24,861
土地	17,801	17,802
その他（純額）	10,025	4,840
有形固定資産合計	65,901	67,645
無形固定資産		
のれん	28	24
その他	786	690
無形固定資産合計	815	714
投資その他の資産		
投資有価証券	19,092	19,750
その他	5,572	7,607
貸倒引当金	△70	△55
投資その他の資産合計	24,595	27,302
固定資産合計	91,311	95,662
資産合計	193,086	197,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,735	17,388
短期借入金	7,238	7,051
未払法人税等	2,269	1,616
引当金	19	22
その他	9,064	9,930
流動負債合計	34,327	36,009
固定負債		
長期借入金	5,861	6,023
退職給付引当金	313	292
役員退職慰労引当金	20	20
その他	4,415	4,582
固定負債合計	10,610	10,919
負債合計	44,938	46,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,798	16,798
利益剰余金	100,790	103,726
自己株式	△178	△203
株主資本合計	138,296	141,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,424	4,399
為替換算調整勘定	1,000	584
その他の包括利益累計額合計	5,425	4,984
少数株主持分	4,426	4,371
純資産合計	148,148	150,564
負債純資産合計	193,086	197,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	73,643	74,954
売上原価	53,972	56,909
売上総利益	19,670	18,045
販売費及び一般管理費	12,256	11,956
営業利益	7,413	6,088
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	256	269
持分法による投資利益	130	153
為替差益	122	—
固定資産賃貸料	71	94
その他	203	87
営業外収益合計	805	625
営業外費用		
支払利息	67	61
為替差損	—	55
遊休設備費	65	67
環境整備費	42	43
その他	75	76
営業外費用合計	251	303
経常利益	7,968	6,410
特別利益		
補助金収入	222	25
特別利益合計	222	25
特別損失		
固定資産処分損	82	156
特別損失合計	82	156
税金等調整前四半期純利益	8,109	6,279
法人税等	2,860	1,870
少数株主損益調整前四半期純利益	5,249	4,409
少数株主利益	133	155
四半期純利益	5,115	4,253

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,249	4,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,599	△25
為替換算調整勘定	1,168	△461
その他の包括利益合計	2,767	△487
四半期包括利益	8,016	3,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,786	3,812
少数株主に係る四半期包括利益	229	109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,109	6,279
減価償却費	3,730	4,063
のれん償却額	4	4
引当金の増減額(△は減少)	△195	△288
受取利息及び受取配当金	△276	△289
支払利息	67	61
持分法による投資損益(△は益)	△130	△153
補助金収入	△222	△25
固定資産処分損益(△は益)	82	156
売上債権の増減額(△は増加)	1,075	838
たな卸資産の増減額(△は増加)	64	△1,439
仕入債務の増減額(△は減少)	221	1,706
その他	1,381	1,438
小計	13,910	12,352
利息及び配当金の受取額	420	431
利息の支払額	△83	△70
補助金の受取額	222	25
法人税等の支払額	△3,934	△2,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,536	10,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	288	△497
投資有価証券の取得による支出	△19	△684
投資有価証券の償還による収入	115	—
有形固定資産の取得による支出	△3,617	△6,097
長期前払費用の取得による支出	△221	△2,433
その他	△56	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,511	△9,675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18	△20
長期借入れによる収入	4,385	393
長期借入金の返済による支出	△3,400	△396
自己株式の取得による支出	△21	△26
配当金の支払額	△1,316	△1,321
少数株主への配当金の支払額	△171	△164
その他	△57	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601	△1,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	693	△269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,117	△1,072
現金及び現金同等物の期首残高	29,529	39,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,647	38,726

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	22,679	28,436	8,104	12,754	71,975	1,667	73,643	—	73,643
セグメント間の内部 売上高または振替高	17	57	243	3	322	3,769	4,091	△4,091	—
計	22,697	28,494	8,347	12,758	72,298	5,436	77,735	△4,091	73,643
セグメント利益	2,047	3,199	1,548	512	7,306	41	7,347	65	7,413

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	22,270	29,910	8,202	12,956	73,338	1,615	74,954	—	74,954
セグメント間の内部 売上高または振替高	25	58	248	12	345	3,710	4,056	△4,056	—
計	22,295	29,968	8,451	12,969	73,684	5,326	79,010	△4,056	74,954
セグメント利益または セグメント損失(△)	1,249	2,351	1,802	665	6,067	△18	6,048	39	6,088

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。